答 申 第 7 3 号
(諮 問 第 7 4 号)

平成 3 1 年 (2 0 1 9 年) 3 月 1 9 日

鎌倉市長 松 尾 崇 様

鎌倉市情報公開・個人情報保護審査会
会 長 安 富 潔

平成 3 0 年 (2 0 1 8 年) 9 月 1 9 日付け鎌総第 1 7 0 0 号で諮問のあった
下記の事案について、別紙のとおり答申します。

記

行政文書一部公開決定処分に対する審査請求について

1 審査会の結論

平成 30 年（2018 年）4 月 11 日付けで審査請求人が行政文書公開請求した「（仮称）村岡新駅の実現に向けた検討会に関し、第 5 回平成 27 年 11 月 9 日（月）以降に、実施した記録類、資料」について、実施機関鎌倉市長が平成 30 年（2018 年）4 月 25 日付けで行った行政文書一部公開決定処分は妥当である。

2 審査請求の主張の要旨

(1) 本件審査請求の経緯

本件審査請求は、次のような経緯で行われた。

ア 行政文書公開請求書の提出

審査請求人は、平成 30 年（2018 年）4 月 11 日付けで鎌倉市情報公開条例（平成 13 年 9 月 28 日条例第 4 号。以下「条例」という。）に基づき、実施機関鎌倉市長（以下「実施機関」という。）に対し、「（仮称）村岡新駅の実現に向けた検討会に関し、第 5 回平成 27 年 11 月 9 日（月）以降に、実施した記録類、資料」に係る行政文書公開請求（以下「本件請求」という。）を行った。

イ 本件処分について

実施機関は、平成 30 年（2018 年）4 月 25 日付け鎌倉市指令深地第 5 号で行政文書一部公開決定処分（以下「本件処分」という。）を行った。

ウ 審査請求書の提出

審査請求人は、本件処分に対し、平成 30 年（2018 年）5 月 25 日付けで審査請求を行った。

(2) 審査請求の趣旨

審査請求に係る処分を取り消すとの裁決を求める。

(3) 審査請求の理由要旨

審査請求人が平成 30 年（2018 年）5 月 25 日付けで提出した審査請求書、同年 6 月 18 日付けで提出した反論書及び同年 7 月 25 日付けで提出した再反論書を総合すると、審査請求の理由は、大要次のとおりである。

なお、審査請求人は審査会における口頭意見陳述を申し出なか

ったので、審査請求人の口頭意見陳述は実施していない。

ア 以前、審査請求人が行政文書公開請求を行い、実施機関が平成 28 年（2017 年）10 月 25 日付け鎌倉市指令深地第 51 号で公開した行政文書（以下「当初文書」という。）と、本件処分で公開した行政文書は、一部において同一の行政文書が対象となっており、同文書はいずれの場合も条例第 6 条第 3 号該当を理由に一部公開とされているが、非公開とした箇所が異なっている。その理由について、検証できる文書の公開を求める。

イ 藤沢市の（仮称）村岡駅南口通り線（以下「シンボル道路」という。）案一 A は公開されているが、同案一 B 及び同案一 C は黒塗りにされている。また、実施機関は同案一 A について、すでに公表されているために公開したと弁明したが、いつ、誰が、どのようにして公表したのかを明らかにしていない。

ウ 条例第 6 条第 3 号に該当するとして、公開することで市民等に不正確な理解や誤解を与え、混乱を招くおそれがあることを理由に、安易に非公開部分を広げることは不当である。

3 実施機関の行政文書一部公開決定理由説明要旨

平成 30 年（2018 年）6 月 8 日付けで提出された弁明書、同年 7 月 13 日付けで提出された再弁明書及び平成 31 年（2019 年）2 月 4 日実施の実施機関の口頭による決定理由説明を総合すると、実施機関が行政文書一部公開決定処分とした根拠は、大要次のとおりである。

- (1) 当初文書と本件処分で公開した行政文書の非公開箇所の違いは、当初文書の公開時には非公開とした箇所のうち、本件処分時点で非公開にする理由がなくなったと判断した情報について、新たに公開したものである。
- (2) シンボル道路案一 A は既に公表されている情報であるが、いつ、誰が、どのように公表したかについては、本件処分とは関係のない事項である。
- (3) 新駅の費用負担に関する情報は、神奈川県、藤沢市及び鎌倉市で検討中の未成熟な情報であり、公開することで市民等に不正確な理解や誤解を与え、混乱を招くおそれがあるため、条例第 6 条第 3 号に該当し非公開としたものである。

4 審査会の判断

当審査会は、審査請求人の審査請求書、反論書及び再反論書並びに実施機関からの弁明書、再弁明書及び決定理由説明聴取の結果に基づき、次のように判断した。

(1) 本件対象文書は、「(仮称)村岡新駅の実現に向けた検討会に関し、第5回平成27年11月9日(月)以降に、実施した記録類、資料」である。

(2) 条例第6条第3号該当性について

ア 条例第6条第3号は、「実施機関並びに国の機関、独立行政法人等、他の地方公共団体の機関及び地方独立行政法人の内部又は相互間における審議、検討又は協議に関する情報であって、公開することにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれ又は特定の者に不当に利益を与え、若しくは不利益を及ぼすおそれがあるもの」を非公開とする旨を規定している。

イ 審査請求人は、条例第6条第3号該当を理由に、安易に非公開部分を広げていると主張するが、実施機関は、本件請求に係る新駅の費用負担に関する情報は、神奈川県、藤沢市及び鎌倉市で検討中の未成熟な情報であり、公開することで市民等に不正確な理解や誤解を与え、混乱を招くおそれがあると主張する。

ウ 当審査会が本件対象文書を見分したところ、実施機関が主張するとおり、神奈川県、藤沢市及び鎌倉市の費用負担を検討する内容の情報が記載されていることが認められた。

新駅設置の費用負担に関する検討内容は、本件処分時点においてははまだ審議継続中の未成熟なものであることから、現時点において公開することにより市民に不正確な理解や誤解を与えたとの実施機関の主張には理由がある。

よって、条例第6条第3号に該当するとした実施機関の判断は妥当である。

(3) その他の主張について

ア 審査請求人は、当初文書と一部、請求対象文書が重複する本件処分に係る文書の非公開箇所が異なることから、その理由を

明らかにすべきと主張する。

また、本件対象文書のうち、公開されたシンボル道路案一Aは、いつ、誰が、どのように公表したのか、詳細を明らかにすべきとも主張する。

イ 実施機関は、本件処分で公開した文書のうち、当初文書と重複し、当初文書の公開時に非公開とした箇所については、本件処分を行った時点で、当初文書公開時と比べ、未開催であった会議が開催されたことなど、時間の経過により公開できる内容が増えたことや、表の項目名などについて公開できる箇所であると判断し、当初文書より広く公開したと主張する。

また、シンボル道路案一Aについては、藤沢市において既に公表されている情報であると説明する。

ウ 本件対象文書のうち、当初文書と同一のものについて、審査会で見分したところ、本件処分に係る文書は実施機関の主張するとおり、当初文書で非公開とした部分の一部を公開したものであることが認められた。他方、当初文書で公開されていながら本件処分において非公開とした箇所はない。

また、シンボル道路案一Aについては、他市で同一の内容が公表されているとする実施機関の主張に、特段の不自然な点や不合理な点は見当たらず、実施機関の主張を覆すに足る事実や根拠は認められない。

審査請求人はその他種々主張するが、いずれも当審査会の判断を左右するものではない。

以上により「1 審査会の結論」のとおり判断する。

5 審査会の処理経過

当審査会の処理経過は、別紙のとおりである。

(別紙)

処 理 経 過

年 月 日	内 容
3 0 / 4 / 1 1	行政文書公開請求書が提出される
4 / 2 5	行政文書一部公開決定
5 / 2 5	審査請求書が提出される（処分庁：深沢地域整備課 審査庁：総務課）
6 / 8	処分庁が弁明書を提出
6 / 1 8	審査請求人が審査庁に反論書を提出
7 / 1 3	処分庁が再弁明書を提出
7 / 2 5	審査請求人が審査庁に再反論書を提出
9 / 1 9	審査会に対し諮問
3 1 / 2 / 4	第 104 回審査会で審議 (実施機関からの口頭による決定理由説明)
3 / 4	第 105 回審査会で審議
3 / 1 9	答申（答申第 7 3 号）